

早稲田大学 教育学部 化学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述
試験時間	60分
特徴・その他	<input type="checkbox"/> ノーベル化学賞の受賞理由と化学史に関する問題は高校の教科書の範囲外である。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
<input type="checkbox"/>	無機	金属イオンの性質、沈殿、硫化水素の製法・性質	やや易
<input type="checkbox"/>	理論	同位体、原子量、分子の電子式、結合エネルギー、ノーベル化学賞受賞者、化学史	やや易
<input type="checkbox"/>	有機	グルコースの構造、アルコール発酵、加水分解、デンプン、セルロース	やや易

〔総合コメント〕

例年、実験問題、論述問題が頻出なので教科書にある実験に関しては十分なまとめが必要。その際、ポイントとなる事項については30字程度の説明ができるようにしたい。その他、グラフに関しても注意したい。やはり学部の特徴から、化学の基礎知識の理解度が問われるので、基本事項の確認が重要。今年はずっと平易な問題であり、ノーベル化学賞の受賞理由と化学史に関する問題がやや難であった。